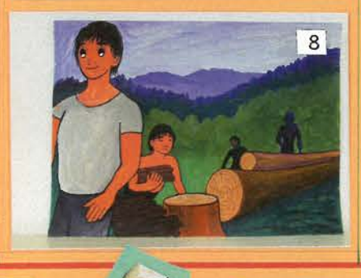
― ♣ 下記 掲載の「写真」〈２４枚〉は“カンボジア”に送った『森と共に生きる』と言う題名の《紙芝居です。当 NPO法人「はばたけ千早」の 理事・別所 弘一 氏により 制作されました。♣ ―



★「カンボジア」

① インドシナ半島東部の国。
② １８６３年→「フランス」の保護国。
③ １９５３年→「立憲国家」として独立。
④ １９７５年→ 国名「民主カンボジア」と改称。
⑤ １９９３年→「カンボジア王国」の成立。
- 面積→１８万1,０００平方キロ。
- 人口→1,３０９万人＜２００４＞。
- 首都→「プノンペン」人口＜７０万４千＞。
- 言語→「カンボジア語」 ― ＜広辞苑＞

♣ タイトル
『森と共に生きる』

緑の募金助成事業としてカンボジア・プレアビヒア寺院付近 世界遺産登録された環境の中で
荒廃された森林の自然保護に植樹をして 森林を守り環境破壊を防ぐボランティア活動が行われています。
その活動の一端を 未来に羽ばたく学校教育の一端に取り組み 『紙芝居』の上演をもって子供達に
その活動の重要性を訴えて行く計画事業を 今回 日本の大学教授の発信で 折しも
区民ひろば千早「語り部々会」に その事業の製作を依頼されて 完成の暁に豊島区の「千早小学校」に
公演交流を図り共感を呼び“カンボジア”に発送されました。『紙芝居』が海外版として
一歩発展を見る事が出来「語り部々会」の 大きな実績として残し 次作への前進の糧となりました。

♣「エコ村」について・・・

◆ タイ・カンボジア(ア)の国境近くにある「プレアビヒ寺院」の近くにあり
面積は「４５００」ｈａ（東京ドーム約９６０個・山手線内側７０％）で 約３０００の家族が生活しているそうです。 ガス・水道・電気の設備もなく 現在も井戸・トイレの充足もなく 飲料水等は 屋外に大きな瓶に溜めているために貯蓄も出来ず その日暮らしの状態の様です。また１９７８年以来の内戦により“森林も荒れ果て”多くの水害に見舞われ各国からの「ボランテア活動」に頼っているそうです。